

Business  
Report

株主の皆様へ

第75期 中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

証券コード：4636

## トップメッセージ

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は当社事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。新たに株主となられた皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、末永くご支援の程お願い申し上げます。

さて、このほど第75期第2四半期決算がまとまりましたので、ここに平成28年4月1日から平成28年9月30日までの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策の効果により雇用情勢や企業業績の改善が続く中、景気は弱さも見られるが緩やかな回復基調となりました。また、アジア地域につきましては、中国では景気は緩やかに減速したものの各種政策効果もあり、安定的な成長は維持されるものと見込まれます。その他アジア地域についての景気は総じて持ち直しの動きが見られました。

印刷インキの需要先であります印刷業界におきましては、個人消費は底堅い動きとなっているものの流通する印刷物は伸び悩んでおります。また、情報の電子化及び少子化の影響により出版・商業印刷が縮小傾向にあり、引き続き厳しい状況が続いております。アジア地域については、中国では景気は緩やかに減速しておりますが安定的な成長は維持されると見込まれ、その他のアジア地域では景気は持ち直しの動きが見られますが、印刷需要は伸び悩んでおります。

このような経営環境の中で、当社の経営理念でありますT & K (Technology and Kindness=技術と真心) の精神に



代表取締役社長

ますだ よしかつ  
増田 至克

則り、ユーザーニーズに耳を傾け、ユーザーの真に役立つ製品の開発・供給に注力し、よりきめ細かいサービスに努めてまいりました。

この結果、当第2四半期の連結累計期間の売上高は、平版インキの販売が減少したものの、UVインキ及びその他インキの販売が増加したことにより、売上高は233億32百万円（前年同期比1.2%増）となりました。利益面におきましては営業利益は12億3百万円（前年同期比3.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法による投資利益2億81百万円、法人税等2億37百万円を計上したことにより、9億59百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、政府や日本銀行の各種政策の効果から景気は緩やかな回復基調が続いているものの、海外経済で弱さが見られており、新興国経済の下振れや英国のEU離脱問題など、先行きは依然として不透明な状況が続くことが予想されます。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、印刷需要の低迷、競合他社との競争激化、為替相場変動による原料仕入価格高騰により、売上、利益ともに厳しい状況が続くものと思われま。このような状況のもと、当社グループとしては、一層の経費削減と生産効率の向上に注力するとともに、ユーザーニーズへの対応を強化し、得意とするUVインキ（紫外線硬化型インキ）や環境対応型インキ等付加価値インキの拡販を推し進め、業績向上に努める所存でございます。

このような事業環境でございますので、当中間期の配当金につきましては、1株につき8円50銭とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月

## 決算ハイライト

売上高

23,332百万円  
前年同期比 1.2%増

営業利益

1,203百万円  
前年同期比 3.6%増

親会社株主に帰属する四半期純利益

959百万円  
前年同期比 11.7%減

### Topics 1 「ベストワン キレイナ」グッドデザイン賞受賞のお知らせ

弊社は、このたび、パウダーレスインキ「ベストワン キレイナ」において、2016年グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞いたしました。今回の受賞では、エンドユーザー側、製造側の双方にメリットを創出した点が評価され、受賞に至りました。

今回の受賞を契機にパウダーレス印刷の普及と「キレイナ」ブランドのイメージ向上に努め、「ベストワン キレイナ」のより一層の拡販を目指してまいります。

#### 「ベストワン キレイナ」とは?

「ベストワン キレイナ」は、弊社が2014年4月に上市した、革新的なパウダーレスインキ。印刷物の製造において、印刷面の付着防止に一般的に使用されるスプレーパウダーが不要なインキです。「キレイナ」を使用することで、機械や印刷物へのパウダーの残留がなくなり、キレイな印刷、キレイな加工、キレイな機械、キレイな工場を実現させます。生産者である印刷会社のみならず、発注者のクライアント、使用者のエンドユーザーまで高い評価を頂戴しております。

グッドデザイン賞 受賞ページはこちら↓

<http://www.g-mark.org/award/describe/44044>



### Topics 2 T&K TOKAの事業紹介

T&K TOKAは、創業より60数年、インキ専門のメーカーとして事業を営んでまいりました。弊社を改めて株主の皆様にご理解頂きたく、主力製品であるUVインキについて紹介いたします。弊社を少しでも身近に感じて頂ければ幸いです。

#### 身近なところにUVインキ

UVインキは、どのようなものに使われているのでしょうか?身近なところでは、コンビニエンスストアにある商品にも使われているものがたくさんあります。

例えば、店内で大きなスペースが取られているカップ麺コーナー。誰でも一度は食べたことがあるカップ麺の容器は、実はUVインキで印刷されています。

手に取ったり、容器どうしぶつかっても剥がれにくいインキ。  
実はUVインキ



キャップの文字。こんなところにもUVインキ



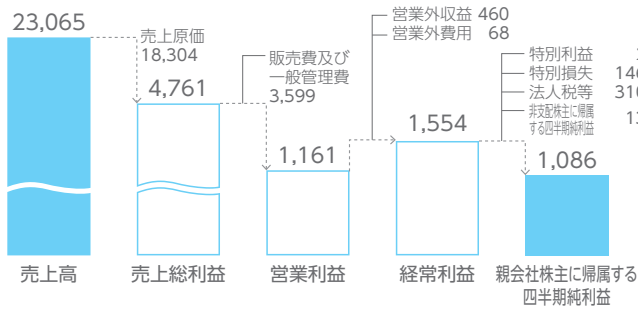
どうしてUVインキが使われているの?



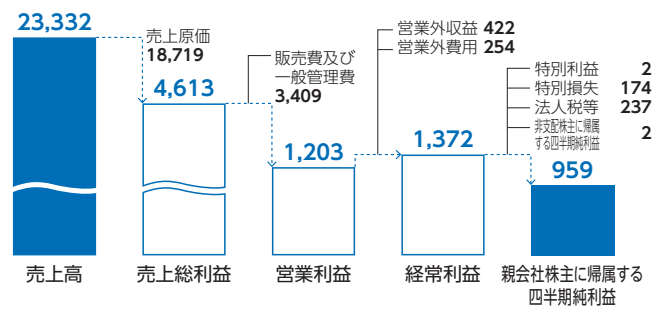
UVインキの最大の特長は、紫外線照射により一瞬で乾くこと。インキが乾くまでの待ち時間がなく、高い生産性を実現し、迅速な商品出荷に繋がります。また、UVインキは擦れに強いのも特長です。ロゴが剥がれている商品を買いたいとは思わないですよね?そんな特長を活かして、カップ麺の他にも、牛乳の紙パック、アイスクリームのカップ、歯磨き粉のチューブ、シャンプーのボトルなど、私たちの身近な日用品のパッケージにUVインキが使われています。T&K TOKAのUVインキは知らないところで、私たちの生活を彩っています。

# 連結財務諸表

## ▶ 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)

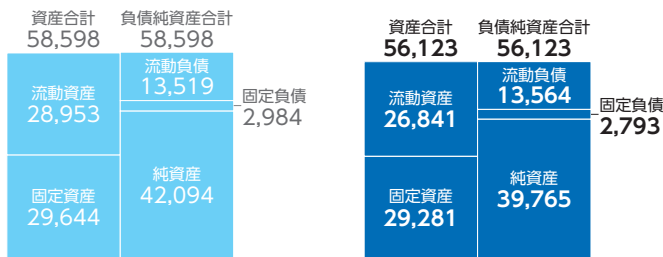


第74期第2四半期連結累計期間  
平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日



第75期第2四半期連結累計期間  
平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

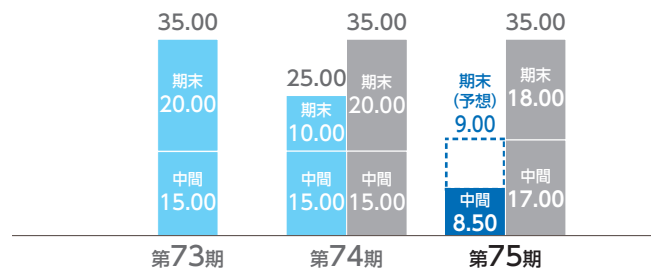
## ▶ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



第74期末  
平成28年3月31日現在

第75期第2四半期末  
平成28年9月30日現在

## ▶ 1株当たり配当金 (単位：円)



(注) 1. 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。第73期、および第74期中間配当金額は、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。  
 2. 第74期、および第75期の配当金額につきましては、2016年1月の株式分割を実施しなかった場合の配当金額を併記しております。

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

※ CF=キャッシュ・フロー



第74期第2四半期連結累計期間  
平成27年4月1日 ▶ 平成27年9月30日



第75期第2四半期連結累計期間  
平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日

## ▶ 当第2四半期のポイント

当第2四半期連結会計期間末における総資産については、前連結会計年度末に比べて24億75百万円減少し、561億23百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて受取手形及び売掛金が8億33百万円、現金及び預金が8億18百万円、流動資産（その他）が4億16百万円減少したことが主な要因であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて1億46百万円減少し、163億57百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べて流動負債（その他）が4億15百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が4億40百万円、長期借入金が1億64百万円減少したことが主な要因であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて23億29百万円減少し、397億65百万円となりました。これは、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が7億10百万円増加したものの、為替換算調整勘定が19億29百万円、自己株式の取得により13億33百万円減少したことが主な要因であります。

## 会社の概要 (平成28年9月30日現在)

商号	株式会社T&K TOKA T&K TOKA CO., LTD. (英文名)
創業	1947年(昭和22年)3月25日
設立	1949年(昭和24年)12月23日
本社所在地	埼玉県入間郡三芳町大字竹間沢283番地1
代表者	代表取締役社長 増田 至克
資本金	20億6,487万円
事業内容	各種印刷用インキ及び印刷用・塗料用・接着剤用合成樹脂の製造・販売、印刷関連諸資機材の販売、輸出入貿易
従業員数	735名(54名) 注：パート及び嘱託社員は()内に平均人員を外数で記載

## 役員一覧 (平成28年9月30日現在)

代表取締役社長	増田至克
常務取締役	山中俊雅
常務取締役	吉村彰
常務取締役	北條実
取締役	栗本隆一
取締役	中間和彦
取締役(社外)	木田卓寿
取締役(社外)	大高健司
監査役(常勤)	五十嵐幹雄
監査役(社外)	甲田奏
監査役(社外)	郡司勉
監査役(社外)	久村泰弘

## 事業拠点



海外拠点(子会社)	P.T. Cemani Toka (Indonesia) Toka Ink International (Hong Kong) Ltd. (Hong Kong) Korea Special Ink Industrial Co., Ltd. (Korea) Toka (Thailand) Co., Ltd. (Thailand)
-----------	---

## 株式の状況 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	25,023,140株
株主数	5,077名

## 株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年決算期日の翌日から3ヵ月以内
剰余金配当基準日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の 証券会社等に なります。	みずほ証券株式会社 本店及び全 国各支店 プラネットブース(株式会社みずほ 銀行内の店舗)でもお取扱いた します。  みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱 できませんのでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行株式会社(※)及び株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の [特別口座の場合]の郵便物送付 先・電話お問い合わせ先・各種 手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買 増以外の株式売買はできません。証券会社 等に口座を開設し、株式の振替手続を行 っていただく必要があります。

公告方法 当社の公告方法は、電子公告としております。  
ただし、事故その他やむを得ない事由により  
電子公告をすることができないときは、日本  
経済新聞に掲載しております。  
当社の公告掲載URLは次のとおりであります。  
<http://www.tk-toka.co.jp/>

## ホームページのご案内

当社ホームページは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。  
どうぞご覧ください。



<http://www.tk-toka.co.jp/>